

# *Shakespeare Newsletter*

日本シェイクスピア協会会報

2018 No. 2

(通巻 Vol. 58 No. 2)

# *Shakespeare Newsletter*

日本シェイクスピア協会会報

2018 No. 2  
(通巻 Vol. 58 No. 2)

## 目次

国際学会の笹山隆氏	1
笹山先生の思い出	3
2019年度総会とシェイクスピア祭のお知らせ	5
第58回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項	8
2018年度日本シェイクスピア協会委員候補者推薦会議解散のお知らせ	11
シェイクスピア基金へのご寄附について	11
2019年度会費納入のお願い	12
日本シェイクスピア協会ツイッターについて	12
NOTICE BOARD	13
ホームページ掲載内容に関するお知らせ	14
日本シェイクスピア協会賛助会員名簿	14

## 国際学会の笹山隆氏

喜志哲雄

1991年8月に東京で開かれた国際シェイクスピア学会第5回大会のプログラムには、研究発表やセミナーの他に、出席者全員を聴衆とする講演が含まれていた。四本の講演のひとつは日本人研究者が担当することになっていたが、日本側の大会準備委員会がためらうことなく推薦した講師は笹山隆氏だった。そして、私どもの提案は、スタンリー・ウェルズ氏を長とする学会自体の大会準備委員会によって歓迎された。

笹山さんの講演“Tragedy and Emotion: Shakespeare and Chikamatsu”は、シェイクスピアを初めとする西洋演劇と近松の作品との共通点と相違点を、観客反応を視野に収めながら分析したものだった。その十年近く前、1982年に、笹山さんは『ドラマと観客』という論集を刊行し、その中で純粹観客という概念を提唱したことがあった。純粹観客とは、「考え得る限り最も鋭敏な感性と豊かな想像力の持主でありながら、当の作品については何の予断も予備知識も持ち合わせず、それに対して完全にフレッシュな反応を示すことができる存在」なのだということだった。だが、ある作品について全く予備知識をもたない観客が現実にいるわけではないのであって、笹山さん自身ももちろんそのことに気づいていた。だから純粹観客は「観念化された観客」なのだとし、現実の観客は特定の共同社会で生活しているから、当然その社会の風土や文化伝統によって条件づけを施されているという趣旨のことを述べていた。

国際学会の講演では、笹山さんは、たとえば近松の『出世景清』とエウリピデスの『メディア』の両方に、ある女性が自らの子を殺害するという事件が現れることに着目した上で、両者の間には決定的な違いがあることを指摘した。すなわち、エウリピデスの場合、女性の行為は自分を裏切った夫に対する積極的な復讐である。ところが近松の場合、女性はまず夫を裏切り、子を殺した後で自殺する。彼女はいわば受動的に罪を償うのであり、悲劇の人物としては到底メディアの次元に達してはいないというのが、笹山さんの解釈だった。西洋の悲劇と日本の悲劇との間に共通点を見出そうとする安易な試みを戒めたかったのであろう。

笹山さんは劇における復讐そのものについても吟味した。シェイクスピアの時代の観客は、人間が復讐を実行することについて是非の議論があることを承知していたから、劇が終わった時に罪悪感を抱かずにはいらなかった。これに対して、近松の時代の観客にとっては、復讐は神聖な義務だったから、それが実現した時に道徳的な考慮をするどころか、快感を覚えることさえあった。こ

れが笹山さんの議論である。つまり、劇を論じる場合に、そこで扱われている事件を吟味するだけでは不十分であり、観客の反応をも意識する必要があるというのだ。それはその通りだが、この場合に問題になっている観客は、それぞれの社会に固有のもの見方によって条件づけを施されている観客であり、純粹観客ではなかった。

笹山さんは、近松がシェイクスピアと同じ素材を扱っているという事実だけに基づいて近松は偉大だと主張する傾向に対して、明らかに憤っていた。他方、近松の偉大さをひたすら誇示しようとする、日本人が陥りがちな傾向についても極めて否定的だった。要するに、東西の演劇を比較して優劣をつけるのではなく、非常に公平な視点から劇藝術について論じようとしたのだ。講演が終ると、私の近くにいたスタンリー・ウェルズ氏が隣席の人に向かって、「少し堅いが、これでいいんだ」と言うのが聞こえた。この学会は成功だと、私は思った。

この講演ではそんなことは全くなかったが、かつての笹山さんは純粹観客という考え方になぜあれほど固執したのだろうか。もちろん、一種の作業仮説としてこういうものを想定するならば、劇についてこれまでとは異なる理解が生れるだろうと考えたに違いない。だが、それだけだったのであろうか。私どもの世代のシェイクスピア研究者で、アリストテレス以来の藝術理論や哲学について笹山さんほど精通している人は間違いなく他にいなかった。非礼になりかねないことを敢えて言うが、笹山さんには、そのことが重苦しく感じられることがあったのかも知れない。講演の原稿は *Shakespeare and Cultural Traditions* (1994) という論文集に収録されているが、それを読むと、笹山さんが、西洋流の考え方を完全に自分のものに行っていること、そして、それ以外の考え方をするのが困難になっていたことが痛いほどよく分る。あらゆる予断や予備知識から解放されている純粹観客（と言うより、純粹読者）に戻りたいと思うことがあったとしても不思議ではない。もしもそうなら、私どもが失ったのは、稀に見る学識と稀に見る誠実さをお互にかねそなえた学者なのである。

## 笹山先生の思い出

小澤 博

大学を定年で退職されてからも、しばらくの間、先生はシェイクスピア学会に参加し、懇親会にも顔を出しておられた。当時は会員数も今の倍近くいて、宴の談笑も賑やかだったが、私は先生が会場のざわめきの中で寂しそうにされている姿を何度か見たことがある。中堅若手の研究者は、この巨人のようなシェイクスピア学者、学界の誇りであり、学術研究の道標でもある巨人においそれとは近づけない一畏怖と羨望の入り交じった表情が遠巻きの参会者の中にあっただのを思い出す。権威主義、形式主義を何よりも嫌われた先生は忸怩たる思いの中で、孤高の身の不本意を噛みしめていたに違いない。もう学会には行かないと話しておられたのは、いつのことだったか。以後、講演の類もことごとく辞退され、度重なる依頼にも、頑として首を縦に振ることはなかった。思えば他ならぬこの私も遠巻きの輩の一人であった。己が不明を恥じつつ、私的な回想の糸を手繰り寄せ、先生の面影を偲んでみたい。

遠い秋の日の風景である。今から 40 年程前、笹山先生は東北大学で集中講義をされている。駆け出しの学生だった私は、階段教室の一番奥でゴンブリッチの面白さを知り、*The Sense of Order* の、*Art and Illusion* の世界に引き込まれ、数年後の『ドラマと観客』に結実する熱い受容理論に聴き入っていた。何回目かの講義が終り、先生がノート類を片付け始めたとき、私は意を決して教壇の所まで降りていき、シェイクスピア以外の作品をいろいろ読んでみたいのだが、アーデン版のような注釈入りのテキストはどうやって手に入れたらよいのかと、無知を曝け出すような質問をしたのだった。先生は上品な上方のイントネーションで「リージェンツとかニュー・マーメイズとか、いくらでもあるでしょ」と応えられたが、きょとんとしている私を見ると、黒板に向き直り、「これを知らなくちゃなあ」と独り言のようにぼやきながら、流麗な筆記体で *Regents, New Mermaids* と綴られた。私にとって忘れられない緊張の瞬間、初めて先生と言葉を交わしたほろ苦い思い出の風景である。後に阪大に赴任した私は、思いがけず、はるか関西の地で先生と再会し、更に東へ西へ時が巡って、世紀変わり目の 1999 年、退職される先生と入れ替わる形で関学に奉職することになった。あの日のぼやき声を思い出すたびに、夢の中を歩いてきたような気分になるのだ。

関学着任後、先生とは研究室や関学会館で、また、ときにはキャンパス裏山の小道を歩きながら、長い午後のひとときを過ごすこともあった。話題は文学、映画、音楽、芝居、旅行等々、尽きることなく、私は終始緊張していたが、気

がつけば時の経つのを忘れて話し込んでおり、黄昏に促されて切り上げるのが常であった。オニールの *Long Day's Journey into Night* で盛り上がり、キャサリン・ヘプバーン主演の映画に話が及ぶと、先生の記憶の中からイギリスの舞台上で観たというオリヴィエのティロンが飛び出てきたこともあった。そんなとき、私は話題の糸口を作るだけで足りた。越路大夫を持ち出せば、祖母君の膝の上で子守歌のように聴いていたという山城少掾の世界へ、まさかと思いつつ手塚治虫を持ち出せば、子供の頃に遊んでもらったという手塚少年（二人は阪急宝塚線沿線の同郷である）の思い出へと、あっけにとられる私の前で、異次元からやって来たような話が次から次へと膨らんでいくのだ。また、旅行好きだった先生は奇想天外な体験も人一倍されていて、スイス・アルプスの山歩きに備えて訪れた北海道で熊に遭遇した話、訳も分からぬまま行動をマークされ、ヒースロー到着時に警官とツーショットの顔写真を撮られた上に、移動先でも執拗な身元調査に悩まされた（何となく気味の悪い）話、シエスタの文化を忘れてリフトに飛び乗り、山の上に忘れるほど置き去りにされた話、ロマネスク建築に魅せられてフランス山間の古い教会や修道院をヒッチハイクで巡った話等々、旅のエピソードには事欠かない。私は繰り出される冒険譚に聞き惚れながら、磨き込まれた学究肌の下に、正に天衣無縫、大らかで、ときに無謀で、大胆な人柄が原石のまま隠れているのを実感した。

そして昨年春。もう外出は叶わぬからと、先生のお宅にお誘いいただいたときのこと、いつものように映画やオペラ、文学談義のひとつきを過ごし、お暇する 때가くると、先生は「握手をして別れましょう」と仰って、ゆっくり手を差し出された。私はたじろいだが、氷のように冷たい手を握った瞬間に全てを了解し、お別れを覚悟した。先生が逝った日は穏やかな秋の空が広がっていた。研ぎ澄まされた知性と感性を天与の恵みとし、教養と行動力の伸びやかな拡がりを生きた人。笹山先生は稀代の＜自由人＞であった。

Go, bid the soldiers shoot —

## 2019年度総会とシェイクスピア祭のお知らせ

2019年度の総会は下記の通り行われます。皆様のご出席をお待ちしております。

**日時：2019年4月20日(土) 12:00～12:30**

**場所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館382教室**  
[東京都新宿区戸山 1-24-1]

最寄駅からのアクセス

- |            |                    |    |         |
|------------|--------------------|----|---------|
| ■ JR 山手線   | [高田馬場駅]            | 下車 | 徒歩 20 分 |
| ■ 西武新宿線    | [高田馬場駅]            | 下車 | 徒歩 20 分 |
| ■ 東京メトロ東西線 | [早稲田駅]             | 下車 | 徒歩 3 分  |
| ■ 副都心線     | [西早稲田駅]            | 下車 | 徒歩 12 分 |
| ■ 学バス      | 高田馬場駅一早大正門、馬場下町バス停 |    |         |

また本年度のシェイクスピア祭を、日本シェイクスピア協会・日本英文学会共催にて、下記の通り催します。一般公開（事前予約不要）で無料です。お知り合いをお誘いのうえ、奮ってご参加ください。

**日時：2019年4月20日(土) 13:00～16:30**

**場所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館382教室**

13:00～ ご挨拶

13:10～ トーク「シェイクスピア作品を演出されて

～シェイクスピア作品を演出して～」

講師：山崎 清介 氏（子供のためのシェイクスピア

カンパニー・演出／俳優）

聞き手：冬木 ひろみ 氏（早稲田大学教授）

15:00～ 講演「シェイクスピアとイスラム世界」

講師：勝山 貴之 氏（同志社大学教授）

トーク要旨： 私がシェイクスピア作品と出会ったきっかけ、そして1991年からグローブ座にて演出を受けた作品（13 演目）、演出家は出口典夫、ペーター・ストルマーレ、ジェラード・マーフィー、ジョン・レタラック、ロベルト・ルパージュ、彼らと初めて稽古に接したお話をします。また、95年から始まった「子供のためのシェイクスピア」では、96年から演出も担当、初めての演出デビューとなったこの企画でのシェイクスピア作品について、私がこだわったこととお話したいと思っております。

\*\*\*\*\* トーク講師プロフィール\*\*\*\*\*

### 山崎 清介（やまさき せいすけ）氏

1957年生まれ。

福岡県北九州市出身。83年劇団青年座を退団、84年にEDメタリックシアターを旗揚げ。91年グローブ座カンパニー発足と同時に参加、数々の海外演出家によるシェイクスピア作品に出演する。最近の出演舞台は『ガーデン～空の海、風の国』（渡辺えり作・演出／オフィス300）、『カトケン・シェイクスピア劇場 ペリクリーズ』（鶴山仁演出／加藤健一事務所）など。脚本・演出作は『Dial A Ghost』『罪と罰』『ドン・キホーテ』（劇団うりんこ）、華のん企画チーフシリーズ全作品、北九州芸術劇場リーディングセッション VOL. 24『雰囲気のある死体』。2012年、長年の活動に対し平成24年度児童福祉文化賞特別賞を受賞。子供のためのシェイクスピアシリーズは95年の初回より全作品に出演、96年からは再演も含め23作品の演出も手がける。2015～2018年、新国立劇場研修所シーンスタディ演出。2018年『桜の森の満開の下』（野田マッパ）では演出補として参加する。





講演要旨： 従来のシェイクスピア研究において、イスラム世界が注目を集めることはほとんどありませんでした。しかし近年、イスラムとの関係を再検討しようとする研究が相次いで発表されるようになりました。イスラム世界出身の登場人物に対する考察や、作品の舞台となったキリスト教周縁の地への理解が、シェイクスピア研究の新たな展開を示唆してくれます。キリスト教・ヨーロッパと対峙するイスラム世界の重要性に目を向け、シェイクスピア作品における異教の影響についてお話したいと思います。

\*\*\*\*\* 講演者プロフィール\*\*\*\*\*



### 勝山 貴之 (かつやま たかゆき) 氏

同志社大学文学部英文学科教授。シェイクスピア時代の英国地図および旅行記の研究。英国地図製作の背景にある国家のイデオロギーや、旅行記における異文化との交渉を研究対象としており、ここ数年は、シェイクスピア劇とグローバル交易の関係についての研究を進めている。主著に『シェイクスピアと異教国への旅』（英宝社、2017年）『英国地図製作とシェイクスピア演劇』（英宝社、2014年）。『シェイクスピア時代の演劇世界—演劇研究とデジタルアーカイヴズ』（共著、九州大学出版会、2015年）など。

## 第 58 回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項

第 58 回シェイクスピア学会は、2019 年 10 月 5 日(土)、6 日(日)の 2 日間にわたり、鹿児島国際大学において開催されます。つきましては、下記により研究発表ならびにセミナーメンバーを募集いたします。応募規定をご覧のうえ、奮ってご応募ください。

### 記

#### ◇研究発表【応募要項】

(締め切り日にご注意ください。応募方法は E メールです。)

1. 一般研究としテーマを問いません。ただし、未発表のものに限ります。
2. 応募者は研究発表概略(和文 2,000～4,000 字、または英文 800～1,500 語)を、WORD またはリッチテキスト形式のファイル(A4 用紙縦設定の横書)にして E メールに添付してください。
3. 学会プログラム資料原稿用に、研究発表要旨(和文 400 字、または英文 150 語以内)を、WORD またはリッチテキスト形式のファイル(A4 用紙縦設定の横書)にして E メールに添付してください。
4. 簡単な経歴書を、WORD またはリッチテキスト形式のファイル(A4 用紙縦設定の横書)にして E メールに添付してください。
5. 応募者の氏名、所属・肩書き、連絡先住所・電話番号・電子メールアドレスを E メール本文に明記し、上記 2.「発表概略」3.「要旨」4.「経歴書」の計 3 点のファイルを添付して、日本シェイクスピア協会(学会担当)宛に送信してください。なお、以上 2～4 の書類はそれぞれ独立のファイルとして添付してください。
6. 応募 Eメールの送信先を日本シェイクスピア協会(学会担当) [sj-conference@nifty.com](mailto:sj-conference@nifty.com) とし、件名に「研究発表応募」と明記してください。
7. 応募原稿ファイルは返却いたしませんのでコピーをお残してください。
8. 締め切りは **2019 年 6 月 15 日(土) 正午**です。
9. 審査結果は 7 月中旬に応募者あてに通知いたします。
10. 日本シェイクスピア協会会員であること(=当該年度の会費納入者)が応募の資格です。

◇**セミナー：学会 2 日目に以下の 3 つのセミナーを企画しました。**  
**【応募要項】**（締め切り日にご注意ください。応募方法は E メールです。）

1. 下記セミナーのうち 1 つのみ応募できます（応募は会員に限ります）。
2. ご希望のセミナーテーマを明記のうえ、ご発言の「主旨」を、日本語 200 字以内（または英語 100 ～ 150 語）にまとめ、WORD またはリッチテキスト形式のファイル（A4 用紙縦設定の横書）にして E メールに添付してください。また「氏名・所属・肩書き・連絡先住所・電話番号・E メールアドレス」を E メール本文に明記してください。
3. 応募 Eメールの送信先を日本シェイクスピア協会（学会担当）  
[ssi-conference@nifty.com](mailto:ssi-conference@nifty.com) とし、件名に「セミナーメンバー応募」と明記してください。
4. 応募締切は **2019 年 5 月 7 日（火）正午**です。
5. 各セミナーとも、コーディネイターと協議のうえ、メンバーの数を限ることがあります（コーディネイターは会員外のゲストを 1 名入れることができます）。
6. 応募の採否については 6 月下旬までに本人宛に通知します。
7. セミナーメンバーに決定した方は、研究発表に重ねて応募することはできませんので、ご注意ください。

なお、各セミナーの①コーディネイター、②テーマ、③指針は次の通りです。

《**セミナー 1**》

①**五十嵐 博久（東洋大学教授）**

②**シェイクスピアと法**

③ シェイクスピアの時代、法やその解釈、また法による裁きのプロセスが広く民衆の関心を集め、慣習法の理念に基づく裁判の方法やローマの弁論術に由来する真理究明の方法や修辞学が、文学や当時の思想様式に影響を与えたことが知られている。欧米における最近の文学研究では、初期近代の「法」・「言説」・「権力」の関係について、法学や文学といった既存の専門的枠組みに固執しない超領域的視点から捉え直そうとする動きがある。学会では「法とシェイクスピア」をテーマとするセミナーが数多く企画され、その成果が矢継ぎ早に出版されている。憲法とかかわる議論が国民的関心事である日本においてシェイクスピア研究に従事する私達も、欧米のこうした動向に対して無関心ではいけない。そこで、本セミナーでは、シェイクスピアやその同時代のテキストを広く「法」との関係性から分析し、再評価する多様な論考を募集して、このテーマについて考察してみたい。

## 《セミナー2》

① 山本 真司 (青山学院大学准教授)

② シェイクスピアと同時代の宗教と視覚文化

③ 「書籍印税なくして宗教改革なし」と言われるが、書籍同様にビラやパンフレットの活用は有効な普及手段となり、特に絵画や木版画を使って一般民衆に教えを分かりやすく伝えることは急務であった。ヨーロッパ中世社会から絶対主義的な主権国家に移行する過渡期において宗教改革が果たした社会的役割を念頭におきながら、初期近代英文学・演劇における宗教と視覚文化の関係を考察することが本セミナーの目的である。自然哲学の分野では視覚的観察に重点がおかれる一方、精神的な事柄に関し宗教改革は視覚イメージの価値に対して問題を投げかけ続けた。1580年頃には初期の iconoclasm 運動から転じて iconophobia の精神風土が定着しつつあった (Patrick Collinson) が、例えば『ヴェニス商人』でポーシャの絵姿を初めて目にしたバッサニアの揺れる審美的倫理観はどのように説明できるのか。視覚芸術と極めて親和性の高い詩や劇を手始めに、シェイクスピア前後の時代にも目配りしつつ、初期近代英国の様々な芸術文化媒体がこの神学的、認識論的、美意識的変革期において人々にどのような視空間や視覚経験を提供しようとしていたかを明らかにしたい。

## 《セミナー3》

① 丹羽 佐紀 (鹿児島大学准教授)

② 「見る・観る」ことの多様性について—シェイクスピア劇を通して考える—

③ シェイクスピア劇において、「見る・観る」という行為は様々な意味を内包し、登場人物や観客、あらずし展開に大きく関わってきます。例えば一方で、『夏の夜の夢』に登場するヘレナは「恋は目でなく心で見ると語り、『マクベス』において、王の暗殺を企てるマクベスの目には短剣が見えます。他方、観客の目の前で繰り広げられる劇の場面が、『夏の夜の夢』でパックが言うところの 'we shadows' であるなら、観客が観ている影とは何でしょうか？恋愛やキューピッドに絡む台詞、異性装や嫉妬がもたらす誤解や妄想、さらに上演作品に対する観客側の反応など、セミナーではシェイクスピアの様々な劇作品を取り上げながら、目の前にある（またはない）ものを見る・観るとはどういうことなのか、議論します。テキストに内在する「見る」という行為だけでなく、上演作品を「観る」という行為も視野に入れ、幅広く議論を展開したいと考えています。

本セミナーは従来のシェイクスピア・ワークショップに代わるものとして、大学院生(修士課程を含む)及び若手研究者の方々の参加を特にお待ちしております。

## 2018年度日本シェイクスピア協会委員候補者推薦会議 解散のお知らせ

委員候補者推薦会議  
前沢 浩子（議長）  
石橋 敬太郎  
岩田 美喜  
前原 澄子

2018年度の委員選挙につきまして10月27日(土)に事務局において開票を行い8名の新委員が決定いたしました。詳細は Notice Board の「選挙結果のお知らせ」をご覧ください。また、11月5日(月)までに当選者全員から書面にて受諾を受け、委員選挙はすべて終了いたしました。従いまして、11月5日をもって委員候補者推薦会議を解散いたしました。

皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

## シェイクスピア基金へのご寄附について

日本シェイクスピア協会では、円滑な事業運営や新規事業の推進のため、ご寄附をお願いしております。

平成30年8月1日から平成31年1月31日までに皆様からお寄せいただいたご寄附の総額は、60,000円となりました。ご寄附いただいた方々のお名前をここにご報告させていただき、皆様のご理解とご協力に対して心より御礼申し上げます。

寄附者名簿(50音順) 蒲池美鶴様、中野春夫様 (以上2件)

## 2019 年度会費納入のお願い

2019 年度 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) 会費は、一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円です。協会の全ての刊行物は、当該年度の会費納入者のみに送付しております。円滑な協会運営のためにも、**6 月末日**までの納入をお願い申しあげます。なお、会費のお支払いは以下の 3 通りの中からお選びください。なお、2019 年度よりゆうちょ銀行口座からの自動引落しは中止となりました。

- 1) 郵便振替による納入：3 月上旬に別送する郵便振替用紙をご利用ください。  
(2019 年度会費の既納者と 2018 年度にて退会希望のご連絡をいただいている方には、郵便振替用紙を送付いたしません。) 領収書をご希望の方は、その旨、振替用紙表側の通信欄にご記入ください。
- 2) ゆうちょ銀行口座への電子振替：ゆうちょ銀行に総合口座をお持ちの場合、ゆうちょ銀行の ATM で月に 1 回まで無料をご利用いただけます。  
詳細は各郵便局でご確認ください。  
ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 9580191  
日本シェイクスピア協会
- 3) みずほ銀行口座へお振込：送金手数料は会員の皆様のご負担となります。  
みずほ銀行 九段支店 普通預金 口座番号 1671451  
一般会計日本シェイクスピア協会

- 注意点
1. 郵便振替による納入以外は、協会に送金通知が届かないため、ご送金後必ずメール (shakespeare-japan@nifty.com 宛) またはお葉書などで事務局までご連絡ください。領収書をご希望の方は、その旨もお知らせください。
  2. 学生会員登録をご希望の方は 5 月末日までに、当該年度の学生証のコピーをメール添付または郵送にて事務局までお送りください。特別な事情がある場合を除いて、5 月末日までに学生証のコピーが届かなかった場合は、一般会員として登録し、差額をお支払いいただきます。

## 日本シェイクスピア協会ツイッターについて

日本シェイクスピア協会では「ツイッター」を開始し、ホームページ掲載情報の告知や学会時のプログラム等に関する情報提供、協会の活動に関するお知らせを、協会会員並びに一般向けに発信しております。ぜひご覧ください。

日本シェイクスピア協会 Twitter URL : [http://twitter.com/tc\\_etu](http://twitter.com/tc_etu)

<p><b>NOTICE BOARD</b></p>
----------------------------

◆ 2018年8月9日 *Shakespeare Newsletter* 2018(通巻 Vol.58) No.1 を刊行。

◆ 2018年8月10日 大会プログラムを発送。

◆ 2018年10月13日 第3回定例委員会を津田塾大学小平キャンパス 5号館 3階 5307 教室にて開催。議題は以下の通り。  
1) 第58回シェイクスピア学会の概要 2) 2019年度シェイクスピア祭の企画 3) 『甦るシェイクスピア』電子書籍化ならびに印税の取り扱い 4) その他。

◆ 2018年10月13日 2018年度日本シェイクスピア協会奨励賞授賞式を津田塾大学小平キャンパスにおいて開催。

◆ 2018年10月13日、14日 第57回シェイクスピア学会を津田塾大学小平キャンパスにおいて開催。詳細についてはホームページをご覧ください。

◆ 2018年10月27日 事務局にて、委員候補者推薦会議による開票作業を事務局長立ち会いのもとで実施。有権者数 447、投票者数 155 (投票率 34.7%)。有効投票数 155 (内、白票 2 票)。無効投票数 0。開票結果は以下の通り。当選者 (敬称略、50音順): 芦津かおり、米谷郁子、末廣幹、杉浦裕子、鶴田学、中村未樹、西出良郎、本多まりえ。次点 土井雅之、次々点 田中一隆。委員候補者推薦会議は選挙結果の報告、新委員の就任意思の確認を終え、11月5日をもって解散した。投票結果の速報は同日、ホームページに掲載。

◆ 2018年11月16日 会長選挙開票。有

権者の過半数を超える得票を得た者がいなかったため、内規により再投票を実施することになった。

◆ 2018年11月24日 *Shakespeare Studies* Vol.56 を刊行。

◆ 2018年12月4日 会長選挙再投票開票。河合祥一郎氏 (東京大学) が選出された。任期は2019年4月1日から2年。

◆ 2018年12月6日 選挙結果報告。新会長決定後、全会員宛に新会長名と新委員会メンバー一覧を葉書で通知、あわせてホームページに掲載。

◆ 2018年12月15日 第4回定例委員会を慶應義塾大学三田キャンパス東館8階小会議室にて開催。議題は以下の通り。1) 第58回シェイクスピア学会の概要 2) その他。

◆ 2019年2月22日 *Shakespeare Newsletter* 2018 (通巻 Vol.58) No.2 を刊行。

◆ 2019年3月15日 *Shakespeare Studies* Vol.57 を刊行予定。

◆ 2019年3月23日 第5回臨時委員会を慶應義塾大学三田キャンパスにて開催予定。

◆ 2019年3月23日 新旧委員による引き継ぎ会を慶應義塾大学三田キャンパスにて開催予定。

◆ 2019年3月31日 *Shakespeare Journal* Vol.5 (通巻 Vol.58) を刊行予定。

## ホームページ掲載内容に関するお知らせ

2013年度より、以下の内容は原則としてホームページにのみ掲載し、ご要望があった場合は随時、コピーをとってお送りいたしております。

規約全文、シェイクスピア祭報告詳細、学会特別講演・セミナー報告、(旧)シェイクスピア・ワークショップ報告、国際交流フェロウシップ応募要項、日本シェイクスピア協会奨励賞規程、*Shakespeare Studies* 投稿規程、*Shakespeare Journal* 投稿規程 以上

協会ホームページ URL <http://www.s-sj.org>

## 日本シェイクスピア協会賛助会員名簿 (五十音順)

板橋演劇センター  
 インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL)  
 エディション・シナプス  
 オックスフォード大学出版局  
 九州大学出版会  
 劇団 山の手事情社  
 研究社  
 プロクエスト日本支社

### SHAKESPEARE NEWSLETTER

日本シェイクスピア協会会報  
 2018 (通巻 Vol. 58) No. 2

2019年2月22日発行

編集 日本シェイクスピア協会  
 発行人 井出 新  
 発行所 東京都新宿区神楽坂 1-2  
 研究社英語センタービル 3F  
 日本シェイクスピア協会  
 印刷 佐藤印刷株式会社  
 © 日本シェイクスピア協会 2019